

## that を使った構文、慣用表現

★これだけ覚えれば、あとは教えた that だけでよ！

It seems that S + V ~ (appears)	「S は～らしい、と思われる」
It happens that S + V ~ (chances)	「たまたま～する」
It is likely that S + V ~	「たぶん S は～だろう、～らしい」
It is { said thought believed } that S + V ~	「S は～すると { 言われている 思われている 信じられている }」
take it for granted that S + V ~	「～を当然のことと思う」
It is not until (till) ~ that S + V —	「～して(なって)初めて—する」
It goes without saying that S + V ~	「～は言うまでもない」
see to it that S + V ~	「～するように配慮する、注意する」

### ★最重要構文★

S + V + so [形容詞・副詞] ~ that S + V —	「S は非常に～なので—」
S + V + such + (a) + (形容詞) + 名詞 ~ that S + V —	「S は非常に(形な)名詞～なので—」

### ★強調構文★

It is [副詞(句・節) / 名詞(句・節)] that S + V ~	「～するのは□□だ」
--	------------

### ◆感情の原因・判断の根拠(不定詞と同じ働き)

例) I was very shocked that my son failed the examination.  
「私は[息子が試験に落ちて]とてもショックだった。」

### 【その他】

be sure that S + V ~ (certain)	「～することを確信している」
be aware that S + V ~	「～に気付く、気づいている」
be proud that S + V ~	「～を誇りに思う」
be afraid that S + V ~	「～を恐れている」
be ashamed that S + V ~	「～を恥じている」

など (これらは、be 形容詞 of ~ の形もとるよ！)

### 【カタマリで接続詞として】

so that S can/may/will + 原形 ~ (in order that)	「S が～できる(する)ように」
for fear that S should 原形 ~	「S が～しないように」
on (the) condition that S + V ~	「～という条件で、～なら」
on the ground that S + V ~	「～という理由で」
S + V ~ , so that S + V —	「～、だから — / ~ ので —」
in that S + V ~	「～という点で」
except that S + V ~	「～という点を除いて」

### ★主なものはこれだけだ！

このプリントを覚えたら、残りの that は、普通、レッスンで教えた通りで識別できるよ！